

授業科目	論理的思考	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
			1 年次前期	2	講義	45 時間
到達目標	1. 事象認識のための思考の形式、法則を学ぶ。					講師
	2. 筋道を立てて物事を考え表現することができる。					外部講師
3. 論文の書き方を理解する。						
授業計画						
基礎編 1 回 ～ 16 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「論理・論証とは何か。」を考え、理解する。</li> <li>・論理思考を深めるため、文章の論理構造に着目して読み解く力を養う。</li> <li>・接続詞を用いて文と文のつながりを理解する。</li> <li>・文章の流れをつかみ、筆者の思いや考えを理解する。</li> <li>・読むことに必要な概念を理解し、語彙を身につける。</li> <li>・引用事例および筆者の論理展開に着目し、読解を深める力を養う。</li> <li>・各段落の内容を理解し、文章全体の展開を理解する。</li> <li>・論理的な文章を通して、自分を取り巻く世界を中心に相対的に見る視点を養う。</li> <li>・筆者の考え方に触れ視野を広げ、自己の幅広い問題意識を育てる。</li> <li>・文章の論理構造に着目して、文章に述べられた内容の理解を深め、筆者の主張に関する関心を深める。</li> </ul>					
応用編 17 回 ～ 23 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抽象的な語句や概念的な表現の意味を正確に理解する力を養う。</li> <li>・論理的文章を書くことで文と文の間の論理的、意味的關係が明確になることを養う。</li> <li>・実例から問題提起を正しく理解し、その問題について考察を深める。</li> <li>・視野を広げて、幅広い問題意識を育てる。</li> </ul>					
評価方法	修了試験(60%)、月 1 回の漢字小テスト(7 回実施予定)(20%)、 時間中に提出の書写ノートと感想・課題提出合わせて(10%)、 その他授業への取り組む姿勢・提出物等(10%)を総合して評価する					
教科書	「論理的に書く・読むスキル」 医学書院 漢検 2 級 分野別問題集 改訂二版, 日本漢字能力検定協会					
参考書	ワークシートと『書写ノート』 『論理トレーニング』					
備考	国語辞典を持参すること。 文章読解のための練習問題を実施する。 その他、言葉に関する小テストを実施する。 予習においてはテキスト、関連書籍の該当ページを熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。復習においてはテキスト・講義資料・参考文献などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深める。					